

東北版

東北支社
仙台市青葉区本町三丁目5番3号
(佐野ビル3階)
☎ 022(224) 0123(代)
FAX 022(267) 6827

来月5日まで 技術募集

東北港湾の災害復旧工事に震災ガレキなどを有効活用

東北地方整備局は、東日本大震災により発生したガレキなどを港湾工事資材として有効活用する技術提案の募集を開始した。7月5日まで募集を受け付け、東北整備局港湾空港部の審査を経て、提案者と協議を決定する。提案者と協議が整いつつある早期で実施が期待できる。提案者の実証実験における体制が整っていることを評価する。

早稲田支部長ら再任

日本道路建設業協会東北支部(早稲田高茂支部)の12年度総会が15日、仙台市の仙台国際ホテルで開かれ、任期満了に伴う役員改選の結果、早稲田支部長以下全役員を再任した。

技術提案では、実現可能性が高く、港湾施設などの工事において活用効果が期待できること、提案者の実証実験における体制が整っていることを評価する。応募資格は短期間で実用化するため、実証データが揃っている技術として、団体および企業などからの提案に限る。なお、団体



早稲田支部長は、東日本大震災により発生したガレキなどを港湾工事資材として有効活用する技術提案の募集を開始した。

2012年5月(累計) 東北6県の前払金保証取扱高

発注者別	請負金額	前年度比(%)	件数	前年度比(%)
国	355億6,800万円	▲7.4	300	▲18.7
独立行政法人	368億4,400万円	▲6.0	77	▲25.5
県	1,439億7,000万円	▲194.5	1,717	▲10.7
市町村	983億6,700万円	▲122.8	1,699	▲5.6
地方公社	45億0,000万円	▲169.1	31	▲6.1
その他	145億1,100万円	▲122.9	123	▲33.7
青森	534億800万円	▲25.2	481	▲3.7
岩手	565億3,300万円	▲124	859	▲100.7
秋田	236億1,900万円	▲15.6	341	▲11.1
宮城	1,264億7,200万円	▲218.4	993	▲2.7
山形	202億4,800万円	▲32.3	451	▲11.4
福島	534億8,000万円	▲193.6	822	▲6.7
東北全体	3,337億6,200万円	▲106.6	3,947	▲26.3

請負金額106%増の3337億円 東北6県 前払金保証取扱高

東日本建設業保証宮城支店は、12年5月(累計)の前払金保証取扱高をまとめた。東北6県の公共工事請負金額は、対前年度106.6%増の3337億6200万円、件数は同26.6%増の3947件となった。発注者別、工事場所別の請負金額と件数は別表参照。



被災地域や東北または全国の大学の技術シーズを活用し、震災がけきと産業副産物による新たなイノベーションを促進することをねらい、産学連携拠点の形成をめざす「アロケーション最適化コンソーシアム」の設立総会が15日、約200人が参加して



NEXCO東日本と陸上自衛隊東北方面隊 災害発生時の相互協定に調印 連携訓練も実施

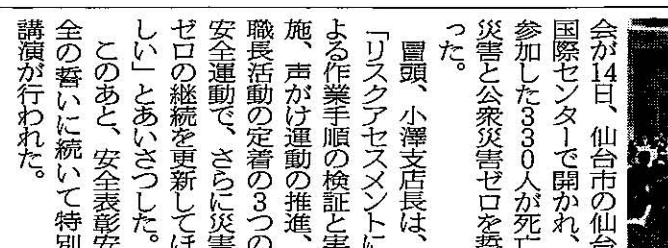
陸上自衛隊東北方面隊で締結した。自衛隊と災害時協定を結ぶのは、NEXCO東日本、西日本に次いで3番目となる。式典には、佐藤社長と渡邊総監のほか幹部が出席、協定書に調印した。

NEXCO東日本と陸上自衛隊東北方面隊

協定内容は、被害情報の共有と定期的な会議と訓練を行うほか、NEXCO東日本からは高速道路施設、敷地、資機材、物資などを自衛隊に提供する。自衛隊からは、救援活動に必要となる高速道路や施設の緊急復旧を行う。協定範囲は東北地方6県の約7万平方メートル。



は、救援活動に必要となる高速道路や施設の緊急復旧を行う。協定範囲は東北地方6県の約7万平方メートル。式典後、佐藤社長は「協定締結で、総合的な災害対応力の強化が図られるとともに、今後陸上自衛隊東北方面隊の東日本大震災での経験を踏まえ、連携訓練を実施するなど、実効性のある取り組みを行っていきたい」とコメントを出した。



「リスコア」プロジェクトによる作業手順の検証と実施、声かけ運動の推進、職長活動の定着の3つの安全運動で、さらに災害ゼロの継続を更新してほしい」とあいさつした。このあと、安全表彰安全推進推進(被災ミュージウム復興事業) 340。

安全大会 危険排除で 災害防止決意

東海興業東北支店(石原和久支店長)と同東北安全衛生協力会(齋藤元会長)は13日、仙台市のパレスへいあんで安全大会を開いた。大会に参加した180人の社員、協力会社代表者が労働災害の根絶を誓い、安全意識の高揚を図った。

石原支店長は「危ない作業をしない、させない」ということを目標に、現場のみならず一級団結し、災害防止に努めたい」と、安全管理の徹底を呼びかけ、曾我隆副社長が「リスコア」プロジェクトを活用し、ヒューマンエラーを防ぎ、危険ゼロに向けた積極的な安全活動をお願いしたい」と訴えた。このあと、安全表彰、安全表彰の入選表彰、安全表彰が行われ、無事故・無災害でまい進することを安全宣言した。

「未利用資源有効活用」の拠点形成

アロケーション最適化コンソーシアム設立総会、被災地域や東北または全国の大学の技術シーズを活用し、震災がけきと産業副産物による新たなイノベーションを促進することをねらい、産学連携拠点を形成する。アロケーション最適化コンソーシアムの設立総会が15日、約200人が参加して

参加資格は、土木AまたはBの認定者で97年度以降に崩落法面復旧または土地造成工事の施工実績を求める。東日本大震災による被害を受けた青葉山1団地および同3団地の法面復旧を行う。工事場所は仙台市青葉区荒巻字青葉地内。工期は13年3月20日まで。6月補正予算案 340億円計上 岩手県

「MOMOの家」 復興住宅説明会

復興住宅や復興融資など住宅への不安や疑問を解決しようと、建築家本間貴史氏(写真)による「MOMOの家」の復興住宅説明会が17日、せんだいメッセアテックで開かれた。被災関係者など一般市民約150人が同氏の「100年住める家づくり」の解説と住宅相談コーナーのアドバイスを受けた。

「復興融資や住宅補助・優遇制度」の説明に耳を傾け、熱心に質問などを行った。住宅相談コーナーのアドバイスを受けた。

26日まで参加申込書

特養ホームほか新築参加申込書、青森社会福祉会、社会福祉法人青森社会福祉振興団(むつ市)建設部、福地理事長は20日、参加申込型指名競争入札により(仮)特別養護老人ホーム金谷みちのく荘新築工事(仮)セントラルキッチンみちのく新築工事

の2件を公告する。26日まで参加申込書を受け付け、開札は7月12日に行う。参加資格は、建築Aを総合評価値1000以上の青森県内業者または、建築Aの総合評価値1000点以上の北海道、東北6県および北関東3県と埼玉県、東京都に本店、支店または営業所を有する者。青森県むつ市金谷2-1 青森県むつ市金谷2-1

671地内にW造耐火造

2階建(2x4型)延べ2666.88平方メートル老人ホームと前同市大字城ヶ沢字砂川目3-43地内にS造平屋建延べ378平方メートルの調理工場を建設する。工期は老人ホームが13年3月20日、工場は前同1月20日まで。

なお設計監理はRABが開発が担当した。